

歴史

- 一 明治二〇年前後―近代の文学始まる 7
- 二 明治三、四〇年代 9
  - (一) 爆発した明治の青春 9
  - (二) 伝統の危機感から 10
- 三 大正と昭和初期 12
  - (一) 郷土の生活、郷土の発見 12
  - (二) 爆発的な季節ふたたび 14
  - (三) 起伏のうちに衰退へと 15
- 四 敗戦まで 17
  - (一) 葉隠ブーム 17
  - (二) 九州の代表的な歌誌 18
  - (三) 同人派の盛況、ホトトギスの浸透 19
  - (四) 民謡・劇に活路を見出す 20
- 五 戦後 22
  - (一) 小説―活動ようやく本格的に 22
  - (二) 詩―苦しい足どり 25
  - (三) 児童文学―創作童話の会誕生 26
  - (四) 短歌―「ひのくに」を中心に 27
  - (五) 俳句―寒雷系など戦後派活躍 28
  - (六) 川柳―佐賀番傘が柳壇開拓 30

文学者五〇人

- 散文 (歴史研究・葉隠・歴史説物・劇・小説) 31
  - 久米邦武 西村謙三 石橋弥作 中村郁一 栗原荒野 川上清吉
  - 古賀秀男 西江靈弦 北島磯舟 後藤道雄 下村湖人 宮地嘉六
  - 三好十郎 田中伸太郎 大塚巖 滝口康彦
- 詩 (漢詩・近現代詩) 42
  - 副島種臣 満岡白里 千住西亭 八並夢川 鎌田景弼 永田碧桐
  - 中島吉郎 林雪堂 藤田秀男 内田夕闇 (下村湖人) 渋谷夕照
  - 古賀残星 公門曠美 吉田瑞穂 服巻紫浪 江口一夫 内山良男
- 歌 (和歌・短歌) 52
  - 今泉蟹守 神代袖子 内柴御風 中尾紫川 中島哀浪 大島病葉
  - 原初枝 永松夙子 杠露秋 中原勇夫
- 句 (俳句・川柳) 58
  - 森湖月 大島岐露太 (大島病葉) 吉田南園 太田耕人 百崎刀
  - 郎 松田一男 富永始郎 北島醇醇 古沢蘇雨子